

ふるさとを知り、未来へつなぐ 新城小 ESD

気仙沼市立新城小学校 熊谷 久恵

児童数	207名	教員数	19名
新城小学校は、気仙沼市西部の丘陵地に位置し、豊かな自然に囲まれた学校である。古くから農林業が地域の基幹産業であったため、農作や安全を祈願する神事が行われており、現在でも宮城県指定無形文化財や伝統芸能が世代を超えて受け継がれている。東日本大震災から10年の間に、学区内に住宅地や商業地が広範囲に開発され、人口増加が顕著に見られている。伝統を大切にしながら、新しいものを取り入れながら伸びゆく学校それが新城小学校である。 新城小学校では、多面的・多角的・総合的に考える力や他者と協力する力を育むために、ふるさとをとりまく環境や古くから伝わる文化、防災等について地域の人々と関わりながら探究学習を進めている。			



ループリックについて

P4 参照

「地域」「防災」「福祉」の3つの柱でカリキュラムを構成し、生活科、総合的な学習の時間、児童会行事を柱に、ESDの実践を行った。各学年の計画に体験活動やフィールドワークを位置付け、体験したことをもとにして、課題追究型の学習に発展させている。

新城のESD

【地】地域 【防】防災 【福】福祉

<全学年> 児童会行事 【地】ふるさとまつり 【防】避難訓練		
低学年	中学年	高学年
生活科 <1年> 【地】がっこう だいすき 【地】たのしいあきいっぱい <2年> 【地】どきどきわくわくまちたんけん 【地】もっとなかよしまちたんけん	総合的な学習の時間 <3年> 【地】地域のよさを調べよう 【防】防災について考えよう① <4年> 【地】さぐろう大川の恵み 【防】防災について考えよう②	総合的な学習の時間 <5年> 【地】守るぞ！伝統を 【福】手をつなごう① <6年> 【地】未来の気仙沼を描こう 【福】手をつなごう②

本校では、指導計画に沿って実践しながら、児童や地域の実態に合わせてカリキュラムの修正や改善に当たっている。子供の学習の特徴を考えてルーブリックをすることによって、子供の実態を具体的に捉え、子供がどこでつまづくのか、どのような力をつける必要があるのか明確にすることができる。ルーブリックは、子供の変容だけではなく、教師側の変容も促している。

評価手法を適用した実践紹介

「新城のよさを調べよう」（3年） P5～P7 参照

まちを探検し、地域のよさを探し、地域のために自分たちにできることを考えた。

「さぐるう大川のめぐみ」（4年）

身の回りの自然について、地域の方や専門家から話を聞いたり観察したりした。そこでの体験を基に調べ学習を行い、大川と自分たちの生活がつながっていることに気付いた。大川の恵みに感謝し、大切にしようという気持ちを持つとともに、森や川や海を大切にすることや自分たちにできることを考えることができた。



「守るぞ！伝統を」（5年）

地域に受け継がれている伝統芸能などを調べ、地域の歴史の深さを学んだ。また、調べるだけでなく、地域の指導者を招いて打囃子の指導を受け、地域の伝統を体験しながら学びを深めることができた。伝統芸能のよさを伝えていきたいという思いを持った。

「未来の気仙沼を描こう」（6年） P8～P9 参照

気仙沼の特徴やエネルギーの現状、震災からの復興の様子を調べ、未来の気仙沼を思い描き、自分たちにできることを考えた。

これらの学習において、「問題解決能力」「コミュニケーション能力」「持続可能性への価値観」「地域や社会の活動に参加する力」のルーブリックを作成し、活用した。 P10 参照

取組を通して、「持続可能性への価値観」や「地域や社会の活動に参加する力」が落ちていることが分かった。これらの資質・能力を高めるためには、指導計画の見直しと地域との連携が不可欠であると考え、新年度の指導計画に生かすこととした。

児童の変容

学習を通して見てきたルーブリックの成果として次の2点をあげる。

1 育成したい資質能力に関して目指す姿が明確になった。

問題解決力や持続可能性への価値観などについて、学習を通してどのような姿になればよいのか明確になったため、教師は、見通しをもって資質・能力の育成を行うことができるようになった。

2 資質・能力向上のための学びにつなげる

子供にとっては、合格レベルの姿が見えることで、学習内容が明確になり、実際に資質・能力の向上が見られた。また、子供の学習姿勢や到達度合いを把握し、次の指導やカリキュラムの改善に生かすことができた。

実践を通しての考察、発見、感想

一見敷居が高いように感じられるルーブリックの作成も、小学校部会で作成した教師向けルーブリック一覧表を参考にすると、容易に行うことができる。

より主体的な学習を促すためには、子供自身がルーブリックの改訂に参加するとよい。

評価手法開発にあたり参考にした文献・書籍・教材

- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（文部科学省 国立教育政策研究所）

問い合わせ先

学校名	気仙沼市立新城小学校
氏名	熊谷 久恵
電話番号	0226-22-6696
住所	宮城県気仙沼市茗荷沢239番地13
メールアドレス	Shinjou-sho@kesenuma.ed.jp

3年総合的な学習の時間「新城のよさを調べよう」学習シート（ 月 日） 3年 組 名前

		ふりかえりのめやす					学習をふりかえろう			
学び方をふりかえろう	できたものに○をつけよう。						4	3	2	1
	（ ）新城のよさについて調べたいことを見つけた。						学習感想			
	（ ）計画を立て、計画にそって活動した。									
	（ ）調べたことに対して自分の考えを持った。									
	（ ）学級の友達や家族に向けて、工夫して発表できた。									
考え方をふりかえろう	4 上の4つがすべてできた。	3 上のうち3つができた。	2 上のうち2つができた。	1 上のうち1つができた。						
	地域の自然と人のつながり、歴史とそれに関わる人々の思いに気付いた。	地域の自然と人のつながり、歴史と人のつながりに気付いた。	地域の自然や歴史について、気付いた。	桜、大川、りんご園など、調べた題材について、気付いた。						
	4	3	2	1						
						学習感想				

気仙沼市立新城小学校 第3学年 総合的な学習の時間 指導計画

主 題 名		地域のよさを調べよう	
時間配当	4月～9月, 1 1～3月（5 3時間）	分類領域	地域学習（環境）
ね ら い			
○様々な技能や特技をもった方について調べる活動を通して,自分たちが住む地域に関心をもつ。 ○新城地区の環境や,産業など地域についての調査を通して,地域のよさを知り,自分たちが住む地域への愛着を深める。			
育てたい資質・能力及び態度			
意欲・主体性	・新城地区の環境や人々について関心をもち,自分たちの生活とのつながりに ついて興味をもって調べようとする。		
課題解決能力	・課題解決学習の方法や手順など,総合的な学習の時間の学び方を知る。 ・課題に対して,テーマに沿った調べ方やまとめ方を工夫し,発表することができる。		
コミュニケーション能力	・疑問に思ったことや感想を相手に伝えることができる。 ・調査活動やまとめる活動では,友達と協力して活動することができる。		
自己の生き方を考える力	・自分たちが住む地域のよさを知り,自分ができることが何かを考え,実践しようとする。		
教科・道徳等との関連			
・国語科:「話を聞いてメモをとろう」,「研究レポートを書こう」,「わたしたちの町の行事をしようかいしょう」 ・社会科:「学校のまわり」,「のこしたいもの つたえたいもの」 ・道徳:「祭りだいこ（郷土愛）」			
体験活動・活用人材			
・地域の野菜づくり名人		・地域の果樹園	他
・地域の自然名人		・しめ縄作り名人	

月	段階	主な活動内容	評価規準
4	出会う・つかむ	総合的な学習のガイダンス(1時間) ○総合的な学習の時間で学習することや,学習の進め方を知る。(1) 地域の名人をさがそう(4時間) ○新城にはどんな名人がいるかを考える。(1) ※地域にはどんな名人がいるか,家族に聞き取り調査をさせる。 ○聞き取り調査をしてきたことを発表し,地域にはどんな名人がいるかを知る。(1) ○新城・落合学区の地図を見て,名人がどこにいるかを確認する。(2) ※3年生の保護者に関係のある名人を取り上げるとよい。	●新城地区にいる名人について,興味をもって調べようとする。 【意欲・主体性】

5	体験する	名人をご招待（13時間） ○地域の名人を招待する計画を立て、知りたいことなどを質問事項にまとめる。（2） ○招待をするための準備をする。（2） ○名人を学校に招待し、体験活動を行ったり、お話を伺ったりする。（3） 例）・自然名人 ・しめ縄作り名人 ・野菜づくり名人 ・りんご作り名人	●疑問に思ったことや感想を名人に伝え、コミュニケーションを図ることができる。 【コミュニケーション能力】
6		○名人に教わったことをまとめる。（3） ○まとめたことを発表し、地域にはたくさんの名人がいることを確認する。（2） ○お世話になった名人にお礼の手紙を書く。（1）	
7	調べる	「新城といえば〇〇〇」を考えよう（12時間） ○生活科やこれまでの学習を振り返り、自分たちが住む地域のよさを挙げる。（1） ○地域に住む大人（保護者）が感じている新城のよさをアンケートにして聞き取り調査させる。（2） ○地域に住む大人（保護者）が感じる新城のよさをまとめて紹介し、地域のよさについて、話し合う。（5） ○児童や大人が考える新城のよさについて、イメージマップを作りながら、「環境」「人と仕事」「自然、動植物」「伝統」などどのようにグループ化する。（1） ○分類した項目の中で、興味をもったことや、調べてみたいことについて学習課題を設定する。（1） ○課題ごとにグループを作る。（1） ○課題に対する予想を立て、調べる方法を考える。（1）	●新城地区の環境や人々について関心をもち、自分たちの生活とのつながりについて興味をもって調べようとする。 【意欲・主体性】 ●課題解決学習の方法や手順など、総合的な学習の時間の学び方を知る。 【課題解決能力】
12	まとめる	地域のよさを調べよう（16時間） ○様々な調べ方を学ぶ。（1） ・電話をかける ・FAXする ・インターネット ・図書室の本から必要な情報を抜き出す ・アンケートをとる ・インタビューする など ○前時までの「調べ方」を生かして、課題について情報収集する。（4） ○得られた情報を整理し、予想に対して調べた結果や考えをまとめる。（2）	●課題に対して、テーマに沿った調べ方やまとめ方を工夫し、発表することができる。 【課題解決能力】 ●調査活動やまとめる活動では、友達と協力して活動することができる。 【コミュニケーション能力】

1		○発表の仕方を学ぶ。(1) ・模造紙や画用紙にまとめる ・ペープサートを作り，劇で表現する ・クイズで聞き手の興味をひく など ○調べて分かったことをまとめ，発表の準備をする。情報が足りない点は再調査する。(6) ○発表会をして，グループで調べたことを紹介する。(2)	
2	生 か す	地域のためにできることを考えよう（7時間） ○各グループの発表内容から新城のよさを考える。(1) ○新城のよさを生かすために，自分ができることを考え，実践する。(5) 例)・新城の豊かな自然を守るために，クリーン活動しよう。 ・地域の人々とのつながりを作るために，あいさつ運動しよう。 ○実践を振り返り，成長を振り返る。(1)	●自分たちが住む地域のよさを知り，自分ができることが何かを考え，実践しようとする。 【自己の生き方を考える】
3			

気仙沼市立新城小学校 第6学年 総合的な学習の時間 指導計画

単元名	未来の気仙沼を描こう		
時間配当	4月～7月, 1月～2月(38時間)	分類領域	地域学習(環境)
ね ら い			
○ 気仙沼の特徴や震災からの復興計画, 復興の様子について調べたり, これからの気仙沼を考えたりする活動を通して, ふるさとに対する理解や愛着を深める。育てたい資質・能力及び態度			
意欲・主体性	・気仙沼の産業や観光などに興味をもち, 自ら追究する。		
課題解決能力	・計画的に調査したり, 友達と話し合ったりしながら, 収集した情報を整理・分析し, 課題解決へと結び付けることができる。		
コミュニケーション能力	・調べる方法を多角的に考えたり, 友達の考えを聞いたりすることで, 自分の考えや方法などを修正したり, 深めたりすることができる。 ・調査を通して, 気仙沼の特徴やこれからの気仙沼について感じたり, 考えたりしたことを自分の生活と関連付けながらまとめ, 表現することができる。		
自己の生き方を考える力	・一連の学習を通して, 気仙沼のよさに気づき, ふるさとを愛する心をもち, 自分たちができることを考えることができる。		
教科・道徳等との関連			
・社会科: 6年 わたしたちの願いを実現する政治 ・国語: 町の幸福論 ・道徳: みんなのために(郷土愛)			
体験活動・活用人材			
・気仙沼の水産業について(三陸新報の記者, 漁協職員)			

月	段階	主な活動内容	評価規準
4	出 会 う	気仙沼について知ろう(10時間) ○ウェビングで気仙沼のイメージを広げ, 本題材の流れを知る。(1) ○気仙沼市の特徴について調べ, 理解する。(5) ・ゲストティーチャーの話を聞いて気仙沼市の現状について理解する。 資料・・・わたしたちの気仙沼デジタル版 気仙沼市公式WEBサイト 例: ○水産業のまちとしての気仙沼 ・気仙沼ではどんな魚がとれるのか。 ・年間の水揚げ高はどのくらいか。 ・漁業に関する施設はどんなものがあるか。 ・消費地への輸送はどうなっているのか。 ○観光のまちとしての気仙沼 ・観光名所(国立公園, 大島, 魚市場など) ・宿泊施設にはどんなところがあるか。 ・年中行事やお祭りにはどんなものがあるか。	●気仙沼の産業や観光に関心をもつことができる。【意欲・主体性】 ●気仙沼について深く追求したい課題を設定することができる。 【コミュニケーション能力】
5			
6	つ か む	他地域と気仙沼を比較してみよう(12時間) ・修学旅行地の盛岡市, 仙北市, 平泉町について調べる。(6)	●収集した情報を整理・分析し, 課題解決へと結び付けることができる。【課題解決能力】

		・盛岡市の自主研修の計画を立てる。(2) 観光, 産業, 文化などのテーマをもって計画をする。 ・他地域と気仙沼市を比較してまとめる。(4)	
1	まとめ る	未来の気仙沼について考えよう (10時間) ・これまで学習したことを振り返り, どんな気仙沼にしていきたいか考える。(2) 例 ・観光都市として ・漁業都市として ・食のまちとして ・防災都市として ・環境都市として ・未来都市として ・福祉の街として ・自分が描いた気仙沼についてさらに詳しく追究する。各自課題を決める。(1) ・調査計画を立てる。(1) ・課題について調べ, 未来の気仙沼市像を考える。(6) 〈調べる方法の例〉 インターネット, 電話インタビュー, 気仙沼市報など	●課題解決までの見通しをもち, 計画を立てることができる。 【課題解決能力】 ●収集した情報を整理・分析し, 課題解決へと結び付けることができる。 【課題解決能力】
2	深 め る ・ 広 げ る	未来の気仙沼について伝え合おう (10時間) ・調べたことをまとめる。(4) 〈まとめ方の例〉 ポスター形式, 新聞形式, パンフレットなど ・互いに発表を見合い, アドバイスし合ってよりよい発表にする。(2) ・アドバイスをもとに, 発表を修正したり, 練習したりする。(2) ・まとめたことを保護者や地域へ発表する。(1) ・これからの気仙沼について話し合い, 自分たちができることを考える。(1)	●気仙沼の特徴やこれからの気仙沼について感じたり, 考えたりしたことをまとめ, 表現することができるようにする。 【コミュニケーション能力】 ●自分たちができることを考えることができるようにする。 【自己の生き方を考える能力】

小学校部会 教師向けルーブリックを活用した予備的ルーブリック

これらの4つの要素について、3年～6年生の総合的な学習の時間に評価を行う。学年ごとに重点を置き、評価する。

評価要素	学習の振り返り					
	4	3	2	1	課題発見、調査活動、まとめと発信はあまりできていない。	1
5 問題解決能力	課題を発見し、調査計画に沿って活動し、結果から考えまとめ、工夫して発信している。	概ね課題の発見、計画に沿った調査活動、結果のまとめと発信をしている。	課題発見、調査活動、まとめと発信のうしろ、いくつか行っている。	課題発見、調査活動、まとめと発信はあまりできていない。	課題発見、調査活動、まとめと発信はあまりできていない。	1
7 コミュニケーション能力	自他の考えや気付きを尊重し、伝え合い、考えを深めて地域や社会に発信している。	自他の考えや気付きを尊重し伝え合い、考えを深めて周囲の人や友達に発信している。	自分の考えや気付きと共に、他者の考えを理解しようとするところがある。	自分の考えや気付きと共に、他者の考えを理解しようとするところはない。	自分の考えや気付きと共に、他者の考えを理解しようとするところはない。	1
13 持続可能性への価値観	未来に向けてよりよい環境や社会をつくることと理解し、地域や社会で活動している。	よりよい環境や社会をつくるのが大切だと理解している。	よりよい環境や社会づくりが大切だと思えるところがある。	よりよい環境や社会についてあまり考えない。	よりよい環境や社会についてあまり考えない。	1
17 地域や社会の活動に参加する力 (社会参画力) ※高学年のみ	地域や社会の活動に参加し、自ら積極的に活動している。	地域や社会の活動に参加している。	地域や社会の活動に参加することがある。	地域や社会の活動に参加することはない。	地域や社会の活動に参加することはない。	1